

令和元年度 第1回窯業技術研究所運営委員会 会議録

日時：令和元年6月18日（火） 11時00分から12時00分まで

場所：瑞浪市窯業技術研究所 2階資料室

出席者：委員 塚本哲也（副委員長）、三浦彰治郎、水野安喜、小島史昭、松崎捷也、
加藤精三、加知節男、和田 孝、水野秀伸、足立公子、河口建喜

事務局 小木曾昌弘（商工課長兼窯業技術研究所長）、

安齋久嗣（所長補佐兼技術開発係長）、大野万里子（主任主査兼管理係長）

欠席者：田口典宏（委員長）

傍聴者：1名

開 会

事務局 令和元年度第1回窯業技術研究所運営委員会を開催します。本日は田口委員長が欠席のため、運営委員会規則第3条4項の規定により、塚本副委員長に委員長の職務代理をお願いしています。

5月25日を以って、恵那陶磁器工業協同組合の理事長が田口典宏さんから水野安喜さんに交代されましたが、任期中のため田口委員長には窯業関係技術者として続けていただき、水野安喜さんには新たに恵那陶磁器工業協同組合理事長として委員に加わっていただくこととなりました。

- ・市長より水野安喜さんに委嘱状を交付

1. 市長あいさつ

市長 新聞に来年の大河ドラマ「麒麟がくる」のキャスティングが掲載されていましたが、明智光秀は瑞浪市にも縁のある武将なので大河ドラマを活用しながら産業・観光の支援を継続していきたい。現在102点のお土産品を企業に作っていただいております。そのうち約7～8割は陶磁器製品であります。地元経済や窯業関係企業のビジネスチャンスに繋げていきたい。

国際陶磁器フェスティバルが来年の9月18日から10月18日まで開催されます。実行委員会では地元の産業振興の機会との位置づけをしていますので、産業振興の企画や事業を考えていただき、瑞浪の企業にもその機会を積極的にご活用いただきたい。

窯業技術研究所の近況としましては、新たに3D切削機を1台購入し、来月納品されますので、商品開発に活用していただければと思います。また、新商品開発支援として「ものづくり研究会」の開催の準備を進めております。講師には、3月のデザインセミナーで好評だった塚本カナエ先生（岡山県立大学デザイン学部 特任教授）を予定しておりますので、多くの企業に参加頂き新商品開発に役立てていただきたい。

また、本日の新聞に「土人形講座」が掲載されましたが、成形方法や歴史等瑞浪市の文化に触れていただく機会として現在開催しています。この伝統技術伝承事業では昨年度「上絵付け技法の手引き」という技術書を作成し、伝統技術を伝えていく取り組みを行っております。今後、石膏講座などの開催も予定しております。

今後とも窯業技術研究所の運営に関しまして、ご協力をお願いします。

2. 所長あいさつ

所 長 3月をもって前所長が退職となり4月から後任となりました。商工課長と窯業技術研究所長を兼務しております。窯業技術研究所の運営に関しましては、引き続き皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

業務内容につきましては昨年度見直しを行い、4月から依頼試験項目と使用料、手数料の改正をして業務を行っていますが、混乱は無くスムーズに開始できている状況です。

事務局 本日は田口委員長が欠席しておりますが、11名のご出席があり運営委員会規則第4条2項の規定により、会議は成立しています。また、本会議は公開で行われ希望者があった場合は平成29年度第1回運営委員会で定めた「傍聴規程」により傍聴できることとしています。本日はお一人傍聴の方がみえます。

議事進行は規則第4条により委員長が議長を務めるところですが、欠席のため規則第3条4項の規定により塚本副委員長にお願いします。

3. 議題

議長 瑞浪陶磁器工業協同組合の塚本です。今日は田口委員長の代理で議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事を進めます。議題（1）平成30年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。

・事務局より資料1の説明を行った

議長 このことについて、ご質問等あればお願いします。

委員 技術講座について、受講者はどのような方が参加していますか。

事務局 基本的には市内の企業のみ参加しています。

議長 次の議題に進めます。議題（2）令和元年度事業計画について、事務局より説明をお願いします。

・事務局より資料2の説明を行った

議長 このことについて、ご質問、ご意見等あればお願いします。

委員 新分野開拓事業の3D切削加工機購入について、これは石膏を削るのですか。

事務局 主に石膏です。樹脂等も加工できますが、試作依頼として多いのは石膏です。

委員 機器が導入されたら見学等はできますか。

事務局 基本的にいつでも見学できます。7月中に納品される予定ですので、納品され次第、委員の皆さんには文書等でお知らせします。

委員 切削加工機は現在使用しているものと同じものですか。

事務局 加工機については入札を行い、結果として現在使用しているものと同じメーカーのものとなりました。機能的には自動制御でドリルを交換する装置が付いていて、切削効率が良くなる機種になります。

委員 石膏の水分によるサビ等の問題は無いか。何か特別な石膏を使用しているのですか。
事務局 陶磁器用の石膏を使用しています。固めてブロック状にしてから乾燥機で乾かして切

削するため、水分によるサビ等の発生はほとんどありません。

議 長 加藤所長が退職されて、実質2人体制で業務を行っているが、事業内容が昨年とほとんど変わっていないが大丈夫ですか。

事務局 確かに業務量が多い状況ではありますが、依頼試験に関しては12項目からスポーリング試験、鉛・カドミウム溶出試験、粒度分析の3項目に見直しました。またCADデータ作成担当の臨時職員を4月から採用し、データ作成にかかっていた時間的な負担は軽減され、試作依頼については以前より早く対応できるような体制になりましたが、前任の加藤所長が担当していた炭素材を使った新素材の開発などの研究開発については取り組めない状況ではあります。

議 長 他に質問やご意見はありませんか。

事務局 補足ですが、先ほどご説明した「上絵付け技法の手引き」を本日資料として配布しています。皆様の周りで欲しいという方がいましたら、一冊700円で販売していますのでご紹介していただければと思います。また市内の職人技を収録した「伝承 上絵付け技術」のDVDは、無料で2週間程度貸し出ししておりますのでご活用ください。
本日新聞に掲載されました「土人形講座」は6回講座で受講者は現在6名です。まだ少し余裕がありますので興味をもたれた方がいましたらお勧め頂ければと思います。

議 長 以上をもちまして、議題については終了といたします。皆さまのご協力でスムーズな進行となりました。ありがとうございました。

4. その他

事務局 塚本副委員長さま、議事進行ありがとうございました。その他にご意見やご要望等ありましたらお願いいたします。

委 員 今回の国際陶磁器フェスティバルでデザイン部門があるということですが、フェスティバル事務局から企業の方へ出展の依頼等がありますか。

市 長 未だ協議の途中の段階であると思うので、詳細が分かり次第皆様にもお伝えしたいと思いますが、瑞浪市内の各企業や個人の作家、デザイナーからたくさんの応募を期待したい。

事務局 これにて、令和元年度第1回運営委員会を終了します。